

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この補足説明書は、ファームウェア Ver.1.04以降で、「無線LAN設定」メニューに追加された新機能について説明しています。

■ RADIUS設定

- 無線LAN設定
- セキュリティ設定
- 無線LAN設定
- 暗号化設定

RADIUS設定	
RADIUS機能を使用	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
サーバアドレス	プライマリ セカンダリ
サーバのポート番号	1812 1812
シークレットキー	
キーの自動変更を使用	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
再認証間隔	120 分

キーの自動変更を使用 ...

本製品のRADIUS機能を使用するとき有効な機能で、Windows 2000(Service Pack4)やWindows XPを使って、本製品にIEEE802.1x認証でアクセスする無線パソコンに対して、RADIUSサーバから定期的に異なるキーをその無線パソコンに自動で割り当てる機能を使用して認証させるとき設定します。(出荷時の設定：する)
※無線パソコンは、Windows XP 標準のワイヤレスネットワーク接続を使用してください。
弊社製無線LANカードに付属の設定ユーティリティーは、この機能に対応していません。

■ 無線LAN設定

- 無線LAN設定
- セキュリティ設定
- 無線LAN設定
- 暗号化設定

無線LAN設定	
SSID	ファーム[11g保護機能]欄の初期値が「有効」に変更されています。
ANYを拒否	<input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> する
チャンネル	11 (2462MHz)
Rts/Ctsスレッシュホールド	無し
11g保護機能	有効
パワーレベル	高
接続端末制限	255
Super A/Gを使用	しない

Super A/G

※SL-5200を装着するパソコンと[Super A/G]対応ドライバーをご用意いただくことで、[Super A/G]で通信できます。
なお、対応ドライバーは、弊社ホームページより公開を予定しています。(2004年6月現在)

米国Atheros Communications社が開発した、独自の無線LAN高速化技術です。(出荷時の設定：しない)
「しない」、「する(圧縮なし)」、「する(圧縮あり)」から選択できます。

「する(圧縮あり)」を選択すると、通信速度がさらに向上します。

※すでに圧縮されているデータを取り扱う機会が多い場合、「する(圧縮あり)」を使用すると、圧縮されたデータを転送しているあいだは、速度が低下する原因となります。

このような場合は、「する(圧縮なし)」に設定してご使用ください。

※[Super A/G]機能で通信する場合、SL-5200(弊社製無線LANカード)をパソコンに装着しているとき有効です。

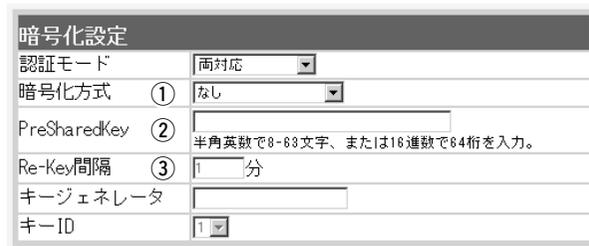
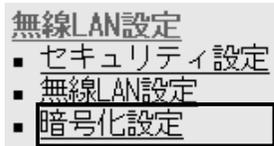
パソコンに装着された無線LANカードが、[Super A/G]に対応していない場合は、[Super A/G]を使用しなると同じ状態になります。

アイコム株式会社

本 社	547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32	TEL 011-820-3888	大阪営業所	547-0004 大阪市平野区加美野作1-6-19	TEL 06-6793-0331
北海道営業所	003-0806 札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 022-298-6211	広島営業所	733-0942 広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
仙台営業所	983-0857 仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 03-3455-0331	四国営業所	760-0071 高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
東京営業所	108-0022 東京都港区海岸3-3-18	TEL 052-832-2525	九州営業所	815-0032 福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211
名古屋営業所	468-0066 名古屋市中白区元八事3-249				

高品質がテーマです。

■ 暗号化設定



① 暗号化方式 ……………

※SL-5200を装着するパソコンと、[WPA-PSK(TKIP/AES)]方式で通信できます。

WPA-PSK(TKIP/AES) :

[WPA-PSK]は、Windows XP(Service Pack1)に修正プログラムが適用されたパソコンで使用できる共有鍵認証方式です。

暗号化方式は、「TKIP」と「AES」に対応しています。

※SL-5200(弊社製無線LANカード)が装着されたWindows XP搭載のパソコンをご使用いただくと、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続から本製品に接続できます。

※パソコンに装着する無線LANカードが、SL-5000XG、SL-5100の場合は、[WPA-PSK(TKIP/AES)]方式で通信できません。

※無線パソコン側の暗号化方式と異なるときは、通信できません。

※「TKIP」と「AES」は、互換性がありません。

※「WEP(RC4)/OCB AES」とは、互換性がありません。

② PreSharedKey……………

※SL-5200を装着するパソコンと、[WPA-PSK(TKIP/AES)]方式で通信するとき、有効です。

[暗号化方式](①)欄で、「WPA-PSK(TKIP)」または「WPA-PSK(AES)」を選択したとき、暗号化鍵(キー)を半角英数字で入力します。

※同じ暗号化方式を使用する相手と同じ暗号化鍵(キー)を設定してください。

※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、8~63文字を入力してください。

③ Re-Key間隔 ……………

※SL-5200を装着するパソコンと、[WPA-PSK(TKIP/AES)]方式で通信するとき、有効です。

[WPA-PSK(TKIP)]、または「WPA-PSK(AES)」方式の暗号化を設定する場合、暗号化鍵(キー)の更新間隔を分単位で指定します。(出荷時の設定：1分)

設定できる範囲は、「0~1440」です。

※「0」を設定した場合は、更新されません。

■ [WPA-PSK(TKIP/AES)]暗号化方式を設定するには

[WPA-PSK(TKIP)/(AES)]の暗号化鍵(キー)による設定は、16進数で64桁を入力する方法、またはASCII文字で8~63文字を入力する方法があります。

パソコンに装着するSL-5200にも同じ設定をしてください。

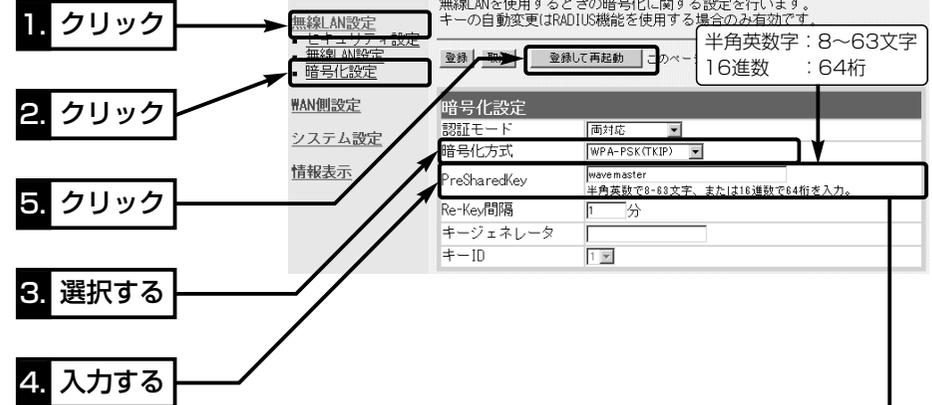
画面は、下記の条件を設定するときの例です。

[暗号化方式] : 「WPA-PSK(TKIP)」

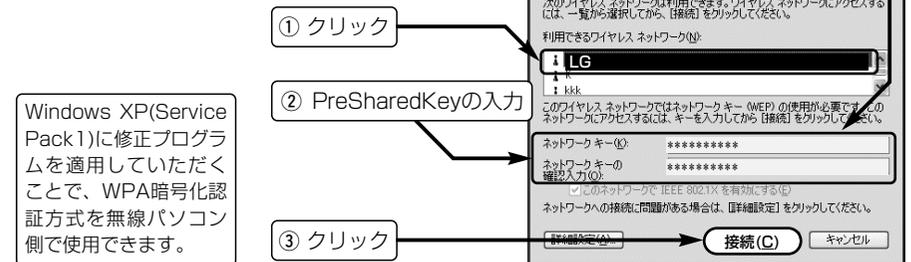
[PreSharedKey] : 「WAVEMASTER」(ASCII文字：8~63文字で入力します。)

[Re-Key間隔] : 「1」分(出荷時の設定)

<AP-3000G側>



<無線パソコン側>



※無線パソコンは、Windows XP(Service Pack1)に修正プログラムが適用されたもので、接続ツールは、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続をご使用ください。

※2004年6月現在、「WPA-PSK(TKIP/AES)」暗号化に対応する弊社製無線LANカードは、SL-5200だけです。

SL-5200に付属の設定ユーティリティは、「WPA-PSK(TKIP/AES)」方式に対応していませんので、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続をご使用ください。